

## まちぢから協議会に関するアンケート結果まとめ

本アンケート結果のまとめは、まちぢから協議会連絡会主催の意見交換会に使用するため、同連絡会が各まちぢから協議会を対象に実施したアンケートの結果を編集したものです。

### まちぢから協議会を運営するうえでの課題・困っていること

#### 組織運営、会議場所、自治会等の既存団体との関係性に関する こと

##### < 課題 >

- ・それぞれの団体の課題に対して、応援や支援まで至っていない。
- ・課題の共通認識が難しい
- ・地域全体の課題が、まだまだ、まちぢから協議会全体の課題としてとらえきれていない
- ・新しい課題発掘。マンネリ打破。

##### < 組織運営 >

- ・部会運営
- ・地区としての情報共有をする場がなく、地域活動が団体毎となっている。
- ・既存団体と「まちぢから」の枠組が併存し、二重の管理運営・事務手続きが必要な煩雑さ。
- ・既存団体は、むしろ余計な組織と反発している。

##### < 自治会 >

- ・自治会間の温度差。
- ・自治会が運営上リーダーシップで有り、自治会員中心で地域住民の為の活動になっていない。
- ・自治会未加入者への対応

##### < その他 >

- ・会議・イベント会場が少ない
- ・市民の集い提案の採用・改善・実現化が低調。
- ・認知症増加。
- ・非自治会員の扱いが自治会長に委ねられている（ごみ収集、防災等）。
- ・コンビニエンスストアが5軒以上廃業してしまい、買い物難民が増えている状況

## 人・担い手の育成、役員を選任の課題に関すること

- ・ マンション等で毎年役員が変わるところが多く、議論の継続性や地区役員の選任に難しさがある
- ・ 定例的に会議を欠席する役員の存在
- ・ 構成メンバーの意識が受け身
- ・ 構成メンバーの一体感が希薄
- ・ 若い世代の参加者が少ない事
- ・ 人口が少ないことは、人財的に各団体をひきつぐ人材が不足しており、特に責任者のなり手がいない。
- ・ 結果的に、いろいろな仕事は特定の人にかぶさってきており、限られた人間が長期に渡り、会をリードしていくようになっている。
- ・ 役員の担い手がいない  
→特に、事務局長は、役員会、定例会等の資料作成や各運営委員との調整等も多く、負担である。
- ・ 役員の担い手
- ・ 高齢化に伴い、役員のみならず人手不足。(一部若返り有り)
- ・ 課題の共通認識が難しい。

## その他

- ・ 役員手当も少ない。それなりの手当が必要
- ・ 地区内にまちぢから協議会アレルギーがあり設立に時間を要している。
- ・ 定例会に於ける質問に対して一部持越しの返答が無い。
- ・ 行政からの依頼・説明事項について決定事項であり変更したことがない。